

地域おこし協力隊の そっとなっチャ! 高千穂

退任のごあいさつ

総合政策課所属 地域おこし協力隊の金光太陽です。
令和元年度7月より約3年間の任期を経て、この度高千穂町地域おこし協力隊を退任する運びとなりました。

コロナ禍をはじめ、以前にも増して頻発する自然災害やウクライナ情勢など、世界の様相が平成の頃とは一変してしまうほどの激動の期間にもかかわらず、豊かな四季の移ろいの中で水に恵まれ、食にも恵まれた生活をこの宮崎県高千穂町で送れたことに大きな意義を感じております。また、この3年間日々ご指導やアドバイスをいただき、未熟な私を導いてくださった皆様にこの場を借りて感謝を伝えたいと思います。本当にお世話になりました。



Zig-Zag Village Walk

着任当初より携わっていた、世界農業遺産を題材に高千穂の暮らしを多言語キャストと共に旅するツアー「Zig-Zag Village Walk」がこれから旅行会社の訪う(おとなう)様より一般販売されます。ウェブサイトや動画、パンフレットが随時リリース

されていくので見かけた際はぜひチェックしてみてください。

家の暖炉の上に飾っておくと旅後に知人が来たときの話のネタになりそうなパンフレット「Essential Takachiho」もよろしくお願ひします。



今後は沖縄県に居を移し、今までに得た経験や船舶免許、語学力を活かして海の観光産業に携わっていきたく思っております。住む場所は、高千穂町

が沖縄戦の戦火から逃れた方々を疎開地として受け入れて以来、姉妹都市として交流が盛んな南城市と決めてあります。いつか高千穂に思わぬ形で関わりそうな予感がします。

今まで海の近くでしか生活したことがない自分にとって、高千穂での山の暮らしはたいへん貴重なものになりました。

ありがとうございました。

残された期間、原木椎茸を毎日食べておこうと思います。



Zig-Zagパンフレット (左)
Essential Takachiho (右)



金光 太陽
Kanemitsu Taiyo

香川県出身。総合政策課所属の地域おこし協力隊(令和元年7月~令和3年3月)世界農業遺産ブランドを活用したインバウンド業務に携わる。
好きな言葉はボブ・マーリーの「Love the life you live, live the life you love」

学校へ行こう

杉 巣立ちの季節 3/24 板の卒業証書

うららかな日差しの中、町内5つの小学校で卒業式が行われました。

岩戸小学校では、杉板の卒業証書を作成し卒業生へ授与。これは、6年生の保護者や地域方が協力し作成。10年以上前から受け継がれているものです。

杉板の卒業証書を手にした卒業生は、ステージ上で胸の前に掲げ、一人ずつ家族への感謝の気持ちを伝えました。想いがあふれ、涙を流しながらあいさつをする卒業生の姿に会場は、感動の空気に包まれました。



合 進路意識の高揚に 3/17 格体験発表会

高千穂高校で、1・2年生を対象に卒業生による合格体験発表会が行われました。

発表をしたのは、1日に卒業したばかりの卒業生8名(就職2名、進学6名)で、進路先の選定理由や取り組むべきこと、合格するための勉強方法などの体験(経験)を発表しました。在校生らは、メモを取るなど先輩たちのアドバイスに耳を傾けていました。

発表者
甲斐佑紀さん・多川優星さん・佐藤摩紗斗さん・鳥越春奈さん
中藪茜純さん・坂本信さん・戸高柁さん・田中錠さん



今月は、町内の小中学校から、11句の作品が寄せられました。



家族みんなで
俳句をひねろう

上野小6年 戸高 加宝

桜咲き
六年生の
スタートだ

上野小6年 佐藤 樹規

桜さき
お楽しみ
の一年生

上野小6年 廣木 颯真

桜咲く
みんなでお花見
ご飯食べ



今月の俳句
選者 佐藤守

俳句ってなあに？

※参考図書：親子で楽しむことば俳句塾(大高翔・著/発行・明治書院)

川柳は、俳句と同じ一七音でできていますが、季語や「切れ字」(「や」「かな」といった言葉)を使わず、口語でつくられ、こっけいな表現が多いのが特徴となっています。

俳句と短歌、そして川柳。短歌は「和歌」の一種。長歌に対して短歌と呼ばれましたが、最も広く親しまれたため、「和歌」といえば「短歌」のことを指すようになりました。

俳句の決まり
俳句は、五・七・五の定型詩で、季語のある詩というのが大まかな定義ですが、五・七・五ではないリズムの「自由律俳句」や、季語のない「無季俳句」と呼ばれる俳句もあります。

